

科目名	障害学 Disability Studies			担当教員 (研究室番号)		浦野 茂 (503)		教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修 年次	4年次 前期	科目 区分	教養・基礎科目			選択 区分	選択	単位数 (時間)	2(30)	授業 形態	講義	科目等 履修生	可
												オープンクラス	可
科目 目的	人間の生命に関する様々な事柄が現代の社会においてどのような仕方で現れ、問題として経験されているのか、そしてまたこれらをめぐって現にどのような政治が行われているのだろうか。この授業の目的は、こうした問題についてとくに障害（身体・知的・精神の障害）をめぐる社会的コンフリクトを事例に、検討します。												
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解）											
	関連する DP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。（姿勢・態度）											
到達 目標	障害をめぐって人びとの間にさまざまな深刻なコンフリクトがあること、そしてそれらが何に由来し、どのように解決困難なものであるのか。またそのコンフリクトについて、各自がどのように考えるのか。これらについて理解を得ることがこの授業の到達目標です。												
成績評価方法 (基準)		授業での報告（35%）、各授業における小レポート（30%）、期末レポート（35%）による。											
再試験の有無と 基準等		再試験あり。追加レポートの提出による。											
教科書		小川喜道・杉野昭博（編著）『よくわかる障害学』ミネルヴァ書房、2014年。											
参考書等		中西正司・上野千鶴子『当事者主権』岩波新書、2003年。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待		授業は、履修者による発表とそれにもとづくディスカッションを中心に進めます。履修者には、各回の授業に先立って教科書の該当箇所に目を通してきたうえでディスカッションに積極的に参加するよう、期待しています。											
備考													
回	学習項目			学習内容						主担当 教 員	授業 方法		
1 回	イントロダクション			授業目的と基本的な考え方について説明する。						浦野	講義		
2 回	障害学とは何か			障害学の基本的な考え方とその意義について理解する。						浦野	講義		
3 回	障害と社会との関係			障害という現象が社会や文化との関係について考え、理解する。						浦野	講義		
4 回	障害の社会モデル			障害の社会モデルの考え方とその意義について、理解する。						浦野	講義		
5 回	障害の経験を読む(1)			当事者の語りに基づき、身体障害の経験について理解する。						浦野	講義		
6 回	障害の経験を読む(2)			当事者の語りに基づき、精神障害の経験について理解する。						浦野	講義		
7 回	障害受容をめぐる問題(1)			障害をめぐる支援者の考え方と態度の問題について理解する。						浦野	講義		
8 回	障害受容をめぐる問題(2)			障害をめぐる支援者の考え方と態度の問題について理解する。						浦野	講義		
9 回	障害と文化(1)			障害文化（障害とともに形成されてきた文化）について理解する。						浦野	講義		
10回	障害と文化(2)			障害文化（障害とともに形成されてきた文化）について理解する。						浦野	講義		
11回	障害とアート			障害とアートとの関係について、いくつかの考え方・アプローチを取りあげて検討する。						浦野	講義		
12回	精神障害と刑罰			精神障害者への刑罰をめぐってなされてきた議論を検討し、精神障害をめぐる司法制度の課題について理解する。						浦野	講義		
13回	わかりやすさと情報保証			コミュニケーションにおけるバリアフリーとその意義について理解する。						浦野	講義		
14回	合理的配慮について			合理的配慮という考え方とその意義、実践方法について理解する。						浦野	講義		
15回	まとめ			授業内容を振り返りながら、障害学の考え方について理解を深める。						浦野	講義		

学 習 課 題

各回の授業に先立ち、教科書の指定箇所に目を通し、関連する経験や問題をまとめておくこと。

各回の授業時間後、授業内容についての小レポートを作成・提出する。

実務経験を活かした教育の取組